

令和5年度 第3回 浜松市立舞阪小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月14日（水） 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立舞阪小学校 会議室
- 3 出席委員 渡邊 東一、藤田 政敏、星野 節子、鳥海 益夫  
片桐 美恵子、今中 恵子、角田 勝
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 河合 一徳（舞阪支所副所長）
- 6 学 校 古川 理江（校長）、高須 祥郎（教頭）、梅村 友之（教務主任）、  
石野 洋一（CSディレクター）
- 7 教育委員会 （教育総務課） 牧野 知子 指導主事
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項等
  - （1）会長・校長あいさつ
  - （2）経過報告〔教頭〕
  - （3）熟議・承認
    - ・学校関係者評価の分析と今後の課題の整理〔教務〕
    - ・学校運営協議会の取組評価〔委員〕
    - ・令和6年度の学校運営について〔校長〕
    - ・夢を育む学校づくり推進協議会の取組について〔教頭〕
  - （4）その他
    - ・市教委教育総務課より
    - ・令和6年度学校運営協議会委員について ほか
- 10 会議録作成者 CSディレクター 石野 洋一
- 11 会議記録（司会：今中委員）
  - （1）熟議
    - ① 学校関係者評価の分析と今後の課題の整理〔教務〕

※パワーポイント等を使って評価の分析と今後の課題について報告した。（別紙参照）  
☆報告後、（補足として）教頭より「いじめ対策」について報告した。

      - ・挨拶運動は、教師（大人）が率先して取り組みたい。（片桐委員・今中委員）
      - ・いじめ問題について、保護者（地域）から積極的に提起してほしい。みんなで芽を摘んでいく。教員の考える「礼儀正しさ」とは・・・小学生にどこまで求めるのか。（渡邊委員）
      - ・いじめを見たとき、それを進んで教師に報告しようとする児童がいることは評価できる。校長室に行くのが楽しみで仕方が無い雰囲気を作ってくれて感謝（角田委員）
      - ・あいさつは、各町のよって差が見られる。（鳥海委員）

- ・学校評価の項目は、どの視点(教師・児童等)で作成・評価するかで、大きく変わってくる。(藤田委員・角田委員)
- ・ブログを毎日更新しているのは素晴らしい。(今中委員)

②学校運営協議会の取組評価 [委員]

○ 本会の資料を基に、次の三点について評価した。

◇学校運営の基本方針について熟議できたか。

◇学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

◇今年度の取り組みの評価を踏まえた来年度の目標(取り組みの重点)

(教頭より)特に、◇について熟議してほしい旨提案があった。

- ・より効果的な評価方法を考えたい。(藤田会長)
- ・学校が村社会のように閉じた存在にならないで、地域にも開かれた学校になるべきと言う視点で考えると、アンケートも意味がある。(渡邊委員)
- ・地域の特色だけでなく、児童の興味関心、得意なことにも目を向けて、それもどんどん伸ばして行ってほしい。人材の発掘をしたい。(星野委員・片桐委員)

③ 令和6年度の学校運営について [校長]

※別紙資料に基づいて提案を行った。

- ・拍手によって承認された。

④夢を育む学校づくり推進協議会の取組について [教頭]

※口頭で、取り組みについて提案

(2)市教委教育総務課より連絡

(3) 令和6年度学校運営協議会委員について